

やまばと通信

2014.5.1 発行
第 201 号
多摩市立図書館
042-373-7955



本館学習室の机上にパーテーションを設置。



ボクが立体になったよ！

作：寄神光代さん

やんばとくん登場！「ここはどこでしょう？」

「やまばと通信」をリニューアルしました。

平成26年度から、多摩市立図書館だより「やまばと通信」を年3回から隔月発行に変更します。発行回数を増やすことで、より身近で役立つ図書館の情報紙として充実させていきます。

隔月の1日発行予定 A5サイズ横書き 4ページ

※発行日は休館日や事業により変更する場合があります。

* 「へなそうるのへや〜メルボルンこども文庫からの おくりもの〜」オープンしました！

本館こどもとしょしつ内の児童書研究室に、子どもの本の作家・翻訳家の渡辺茂男さん・鉄太さんの著書などを紹介するコーナーを開設しました。

渡辺茂男さんは、昭和40年からお亡くなりになられた平成18年までの長きにわたり多摩市に居住し創作活動をされていました。

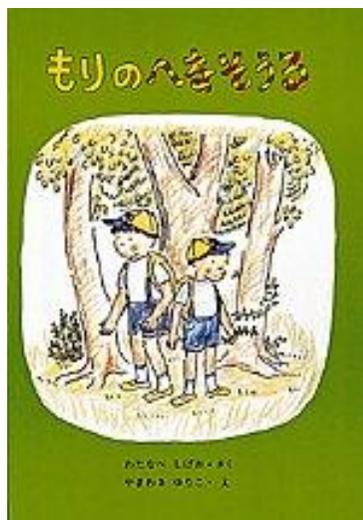
息子である鉄太さんは、現在メルボルン市（オーストラリア）にお住まいで「メルボルンこども文庫」を主宰しています。故郷である多摩市に対して深い愛着があり、「多摩市とのつながりを残したい」という思いから定期的な著書等の寄贈の申し出がありました。

幼年童話『もりのへなそうる』は茂男さんが多摩丘陵を息子さんたちと歩くうちに生まれた物語で、このコーナーの名前の由来にもなっています。また「くまたくん」シリーズ絵本（あかね書房）には、ニュータウンの風景がたくさん描きこまれています。

他にも翻訳作品『エルマーのぼうけん』

（ルース・スタイン・ガネット作、福音館書店）、創作作品『しょうぼうじどうしゃじぶた』など今でも読みつがれている本がたくさんあります。

こどもの読書週間（4/23～5/12）に合わせて、各図書館で渡辺茂男さんの絵本の企画展示を行っていきます。どうぞご来館ください。



『もりのへなそうる』
わたなべしげおさく
やまわきゆりこえ
福音館書店 1971年刊

地域資料系の紹介

地域資料系では、本館の「行政・郷土資料コーナー」と「たま市民文庫」（写真右）、市役所の行政資料室（写真下）を運営しています。行政・郷土資料コーナーは多摩市と周辺地域の資料、多摩ニュータウン関連資料を取り扱っており、たま市民文庫は市民が出版した資料を受け入れています。



行政資料室は、市議会、各委員会の資料や多摩市で発行した報告書や国・都・近隣自治体の報告書などを見ることができます。

おすすめの1冊：『多摩市町村のあゆみ』
東京都市町村自治調査会 2014年
多摩地域が神奈川県から移管された120年の歴史をコンパクトにまとめた冊子です。

所蔵資料の紹介

健康は足から！ウォーキングに挑戦しませんか！

書名 「多摩丘陵」（山と高原地図詳細コースガイド）

昭文社 3冊所蔵 分類 291.365

内容 「よこやまの道」「小野路フットパス」など、多摩市近隣のコースガイドが丁寧に紹介されています。今度の休日には家族や友人と季節や動植物との出会いに出かけてみませんか。



図書館の仕事「蔵書点検」とは？

蔵書点検とは、図書館が所蔵する全蔵書と、検索や予約で使用する電子データの突合せを行うことで、市民の皆さんの財産である蔵書資料の適正な管理と、利用者の皆さんへのスムーズなサービスの提供目的に、定期的に行っている作業です。

どんなことをしているのですか？

- ・実際の作業は、ハンディターミナルという機器で、蔵書の表紙に貼ってあるバーコードを1冊ずつ読み取っていきます。その次に、所在不明の資料の一覧表を作成します。そして、データ上不明になった資料を1冊1冊探していきます。

不明資料とは、在庫、貸出、修理中などになっていない、所在がわからない資料で、紛失、未返却、盗難等が考えられ、全館で所在を確認します。複数回の蔵書点検を経て最終的に除籍を行います。

また、閉館の間に、機器の点検や、書架の移動・変更など普段なかなかできない作業も行っています。

- ・蔵書点検の日程は、本館を除いて市内で場所の離れている2館ずつを閉館し、点検をしていない他の図書館は開館し、できるだけ利用する方にご迷惑をおかけしないように設定しています。
- ・多摩市では80万冊を超える蔵書の点検作業を、この期間に職員総出で行っています。

皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

※今年度から、蔵書点検中の図書館の

ブックポストもご利用いただけます。



▶ 写真は読み込んでいるところです。